

徴兵制～その後～

2024年3月27日

ミャンマービジネスサポートデスク 西垣 充

4月以降に導入する方針の徴兵制。区・村レベルでは徴兵候補者選びが本格化しています。3月14日からヤンゴン管区内でも徴兵候補者選びが本格化し、日本企業で働く社員や日本行きを目指すミャンマーの若者らが次々と候補者に呼ばれ始め、進出日本企業の間でも混乱が続いています。候補者を選ぶ方法は区・村によって異なっているようで、対象者を集めてクジを行ったり、経済的に厳しい人を候補者に選び、金銭的に周りがサポートし、米や油を支給することで立候補を募るなど、多岐にわたっているようです。在ミャンマー日本大使館は、JCCM・ミャンマー日本商工会議所(Japan Chamber of Commerce and Industry, Myanmar)に所属する日本企業に対して、「同社員が同社に所属することを保証し、同社員の身体・財産・活動の安全確保に関し、特段の御配慮をお願いする」という大使直筆の「サポートレター」を発給しています。

徴兵候補者選びが本格化したことにより、比較的裕福な家族は海外への移住や一時避難に動いているようで、国際線も込み合っているようです。徴兵候補者選びが本格化した3月14日以降、日本への渡航希望者が急増しているようで、在ミャンマー日本大使館前は以前よりも多くの人が見かけられ、3月25日に日本渡航ビザの取得予約をしても、受け取りは5月1日と、かなり込み合っているようです。日本企業の中には、対象社員に対して日本や第三国への社内転勤をさせる動きもありますが、対象者数が多い企業については、金銭的サポートも難しく、心のケアを中心に行っているところが多いようです。

ミャンマーの経済が先行き不透明なだけでなく、徴兵候補者に入る可能性のあるミャンマーの若者はますます海外就労を目指すことが予想され、日本を目指すミャンマーの若者も増加することが予想されています。

以上